

2月14日

テーマ：役に立つもの

聖書箇所：ピレモンへの手紙 1 1 節

◆今日のみことば

彼は、前にはあなたにとって役に立たない者でしたが、今は、あなたにとっても私にとっても、役に立つ者となっています。 ピレモンへの手紙 1 1 節

◆メッセージ

このパウロさんの手紙は、コロサイの教会で役員をしていたピレモンさんに送られた手紙です。ピレモンさんの家で働いていたオネシモさんはその家のお金を取って逃げ出しましたが、パウロさんと出会い、イエスさまを信じて救われました。そこで、イエスさまに変えられたオネシモさんを赦し、受け入れてくれるように、パウロさんは願ったのです。

皆さんだったらどうでしょうか。自分のものを盗んでしまった人を赦すことができますでしょうか。それは本当に難しいことですね。ところがパウロさんはピレモンさんの手紙の中で、オネシモさんが取った物は自分が払いますと言いました。身代わりとなってオネシモさんを守るパウロさんの愛を、ここに見ることができますね。パウロさんは、奴隷のオネシモさんのことを可哀想に思っ助けてあげたのではありません。オネシモさんのことを「役に立つもの」と言っています。自分のことを支えてくれる大切な人となっているというのです。

オネシモさんは、自分の罪のために十字架で死んでくださったイエスさまを信じ、変わりました。そして、その救いへと導いてくれたパウロさんの愛によって、さらに

う。それは、以前は人の物を盗んでしまうような罪人であったオネシモさんが神さまを信じ、イエスさまのすばらしさを伝える「役に立つもの」となりました。

私たちも神さまの前に「役に立つもの」となりたいです。ルターという人は「私たちはみな神のオネシモである。」と言いました。私たちの罪の負債をすべて引き受けて、十字架で死んでくださったイエスさまを信じることによって、私たちもオネシモさんと同じように「役に立つもの」と変えられることができます。神さまの愛を知り、イエスさまの救いを受け、その素晴らし

さを多くの人に伝える者となりましょう。

◆お祈り

「神さま。イエスさまがオネシモさんのように罪を犯した私たちの罪を負い、十字架にかかてくださったことを感謝いたします。多くの罪を赦された者として、神さまの役に立つものに変えてください。」

(衣笠中央キリスト教会牧師 三浦峰人)

